

平成14年3月

第19号

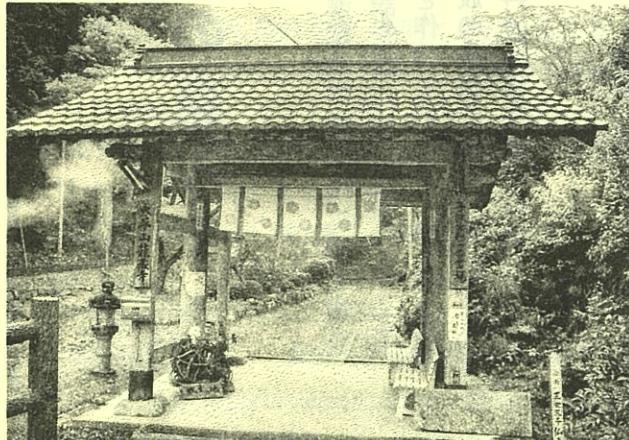
社会福祉法人 水仙福祉会

〒533-0004 東淀川区小松1丁目14-12

Tel 06-6328-3786 Fax 06-6328-3833

題字 岡村 重夫

風の輪



龍藏寺山門。手作りの花器と
野の花が温かく迎える。

丹波でお世話になつてい
る龍藏寺副住職、上阪法山
さんに丹波にちなんだエッ
セイを寄せていただきまし
た。

寄稿

風のひとりこと



上阪 法山

(こうさか ほうざん)

兵庫県三田市社会福祉協議会中央デイサービスセンター所長。
龍藏寺副住職。

淡路こども園の開設当初から、障害のある人の身体・運動発達についての専門家の立場から助言・指導をいただいています。(題字も筆者)

篠山はデカンショの故郷。
その昔、京都から大阪への
裏街道で、今も京文化がし
きたりに残っていることも多
い。鉄道のルート選定時、
かやぶき屋根に汽車の火の
粉が飛んでくると反対され、
真南条から篠山へは向
かわらず、汽車で2時間半か
かつて大阪に買出しに行く
店の人をよく目にした。杜
氏の里、秋じまいが早く、灘
や京都の酒蔵へ。

「自然がそのままある」と
は放置と荒れに任せること
につながる。生きた自然が
大切だろう。自然に人が手
を加え、生活の中に活かす
からこそ守ろうとするので
あろう。人の手の跡が見え、
動物の行動の跡が見える森
は、温かさを感じる。おま

えも生きていたのかと声を
かけてしまう。
自然の中のものを少し
ただき、置場を変えたり、根
を下ろす器を選んだり、そ
のものの特性を大切にしな
がら用途を多彩化していく
と、ちょっとしたアーティスト
気分にも浸れる。
自然のものに根気よくつき
あうことで、その人の心
意気に応えてくれるかのよ
うだ。組み合わせの奇妙な
面白さが人の目を楽しませ
る。石あり、水あり、木あり、草あり、風あり、それ
らを組み合わせる発想が夢ふ
くらむ空間を創り出す。そ
こに人が足を止め、時の流
れを遊ぶ。

丹波の山里に売っている
ものはない。それをつまら

ないと思えば過ごせない。
売つていなければ作つてみ
ようとの生活姿勢に、自然
は私の心や身体の命をつな
いでくれるよう思う。
仲間を待つていて。

19号 目次

丹波特集 (2~5面)

- ・自然の恵み、梅林 (2面)
- ・生活合宿、竹炭、作物、自然と子ども (3面)
- ・薬草茶、野菜作り (4面)
- ・丹波の家周辺イラストMap (4、5面)
- ・EMボカシと土作り (5面)
- ◎法人各施設の取り組み (6、7面)
- ◎いろいろインフォメーション (8面)